

おれんじ通信

3

知って支える認知症

認知症について

疾患の理解②

認知症の原因として

初期にはこんなサインが…



- ・身なりを気にしない
- ・今まで好きだったことへの興味や関心がなくなる



- ・以前よりもひどく怒りっぽい
- ・外出や人に会うことを嫌がる



- ・ガスの火を消し忘れる
- ・ものの名前が出てこない

アルツハイマー型や脳血管型のはかに、近年注目されているのが「レビー小体型認知症」です。

レビー小体型は、歩行障害や手のふるえ、筋肉の硬化などの症状で有名なパーキンソン病と同じ物質が脳に溜まることで起こります。ありありとした幻覚が特徴で、症状は日や時

間帯によって変動します。アルツハイマー型と違い、はじめのころはあまり「もの忘れ」が目立ちませんが、一般的に症状の進行が早い傾向があります。

そのほか、治る認知症原因疾患として、正常圧水頭症や慢性硬膜下血腫があります。これらは脳の画像検査(MRI, CT)で診断でき、

手術によって改善しますので、何かおかしいなど感じたら、一度画像検査を受けましょう。

◇ 次回は「認知症の検査」です。なお、おれんじ通信への意見をお寄せください。

◇ 地域包括ケア推進課 06(4309)3013、℡06(4309)3848